

# 新社長登場

New President

スチレンス・特殊鋼・

各種合金の精密金属材料  
の開発・小ロット生産を



特殊金属エクセル

水谷 徳次郎氏

強みとして主に手掛ける  
同社社長に就任。どんな  
社会情勢であっても耐え  
られる強固な会社を創  
る」と意気込む。そのた  
めには「組織間の連携を  
世界一に、他社が追隨で  
きない製品の開発と技術  
の向上を目指す」と力強  
く述べた。

線で製品づくりを支えて  
きた。「現場を深く理解  
し、現場力を高める。そ  
れが、ものづくりの要諦  
だ」。生産管理本部長に就  
いた2008年ごろ、現  
場の判断を最優先とする  
生産体制「現場の自立化」  
を推進し、生産性の向上  
につながった。受注が減

復や品質向上に大きく貢  
献している。社員一人一  
人を信じて任せること  
で、数々の難題を乗り越  
えてきた。  
同社が製造する圧延材  
料は高い強度や延性、耐  
食性、耐熱性に特化した  
鋼種など、独自の製品や  
顧客の要望に応じた特注

ることを陰で支える。製  
品の品質向上や開発に取  
り組み続けたいと話す。  
同社が掲げる「金属の持  
つ無限の可能性でテクノ  
ロジーの夢を実現」へ歩  
みを速める。  
(北村 康平)

## 組織の連携世界一に

入社以来スリット加工  
や出荷など、現場の最前

り品質不良が増えた13年  
には、品質向上対策への  
協力を募り1

品も多い。汎用品ではな  
くニッチ需要の捕捉を推  
進することで、売上高に  
占める自社開発製品の比

率を5割に引き上げるこ  
とを目指す。一方で世間  
一般の認知度が高いとは  
言えない。当社のすべき  
ことは顧客の技術革新に  
貢献すること。世阿弥の  
「秘すれば花」の精神で、  
顧客を市場の勝利者にす

00人以上の  
社員が手を挙  
げた。彼らは  
次々と策を打  
ち出し、不良  
品の比率を04  
年比4割削減  
した。その後  
の業績V字回

率を5割に引き上げるこ  
とを目指す。一方で世間  
一般の認知度が高いとは  
言えない。当社のすべき  
ことは顧客の技術革新に  
貢献すること。世阿弥の  
「秘すれば花」の精神で、  
顧客を市場の勝利者にす

ることを陰で支える。製  
品の品質向上や開発に取  
り組み続けたいと話す。  
同社が掲げる「金属の持  
つ無限の可能性でテクノ  
ロジーの夢を実現」へ歩  
みを速める。  
(北村 康平)

から取得した。今月30  
日と6月1日には関係  
者を招いて内覧会を行  
う予定。

適空間とすることも  
に、カーボンニュート  
ラル時代に合わせた新  
たな試みとして太陽光  
発電の創エネ・蓄エネ  
設備（太陽光発電設備  
・太陽光モジュール・  
リチウムイオン電池）  
を導入。使用状況・発  
電・蓄電量などのエネ  
ルギー情報を、デー  
タ集積・分析により省  
エネ化改善技術に生か  
す方針。施設入口には  
デジタル掲示板を設  
置し、電力消費量を見  
える化している。さら  
に災害・停電時の電力  
を確保をしたことで、

BCP（事業継続）拠  
点としての役割も果た  
す見込み。  
親会社の日鉄や日鉄  
グループのNSハイパ  
ーツとの協働で実現。

テックスエンジンにとっ  
てはエコプロダクトと  
して初の「ZEB」案  
件でもあり、今後のS  
DG対応などに役立  
てたい考えだ。

### 人とくるまテクノロジー展

電動車向けソリ  
ューション展示

日本製鉄

日本製鉄は23日、今  
週25日から神奈川県横  
浜市のパシフィコ横浜  
で3年ぶりに実物開催  
する「人とくるまのテ

クノロジー展」に出展  
すると発表した。人と  
くるまのテクノロジー  
展は、自動車技術会が  
主催する日本最大級の  
自動車関連技術のイベ  
ントで、約400社が  
出展する予定。  
日鉄は自動車のライ  
フサイクルでの温室効  
果ガス排出量削減に取  
り組んでいるが、今回



日鉄ブース

「向けダイレス生産ソ  
リューション「フレ  
ムコンセプト」などを  
中心に、自動車部品の  
カテゴリ（電動化、  
パネル、骨格、シヤシ  
ー、エンジン&駆動）  
ごとに環境にやさしい  
商品群を展示する。鉄  
の活用による「温室効  
果ガス排出量削減」と  
「安心・安全、快適性  
なども提案するほか、  
文部科学大臣表彰の科  
学技術賞（開発部門）  
を受賞した超高強度鋼  
板加工技術についても  
紹介する。

メーカーボックス  
野原産業エ

「企業の土台 ました。入札案件の下見 は良い意味で『昭和』な、  
な役割があ や鉄・非鉄金属スクラップ 『義理と人情』にあふれ

果ガス排出量削減に取  
り組んでいるが、今回

ンセプトNSAC（エ  
ヌセーフオートコンセ  
プト）の技術ラインア  
ップを強化した電動車  
向けのソリューション

メーカーボックス  
野原産業エ